

発表項目 (行事名)	「農たび・北海道ネットワーク研修会」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>このたび、道内で農村ツーリズム(農泊等)に取り組む実践者などを対象に、取組の持続的な発展を図るため、先進的な事業展開について学ぶとともに、関係者間の意見交換等を行う標記研修会を開催します。</p> <p>午前中は、千葉大学大学院園芸学研究科教授で、農山漁村振興交付金評価委員会委員長でもある大江靖雄氏から、北海道における農泊の可能性について講演をしていただきます。その後、道内の農泊地域実践者とともにパネルディスカッションを行います。</p> <p>午後からは、「どんな”農たび”してみたい?地域のコンテンツを磨こう!」と題し、札幌大谷大学の学生が考案した農たびPRツールのプレゼンと、そのツールを元に参加者で意見交換を行います。</p> <p>◇ 日時: 令和元年(2019年)12月3日(火) 9:00~16:00          ◇ 場所: TKP札幌カンファレンスセンター(中央区北3条西3丁目)          ◇ 主催: 北海道          ◇ 内容</p> <p>基調講演『北海道における農泊取組の可能性と課題について』          千葉大学大学院園芸学研究科 大江 靖雄 教授</p> <p>パネルディスカッション(道内農泊地区の事例紹介)          NPO法人やくも元気村 赤井 義大 事務局長          歯舞漁業協同組合 中村 直樹 参事          ホック農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会 道山 マミ 副会長</p> <p>意見交換会「どんな“農たび”してみたい?地域のコンテンツを磨こう!」          札幌大谷大学社会学部地域社会学科 山下 成治 教授          芸術学部美術学科 堀 じゅん子 教授          芸術学部美術学科 島名 毅 准教授</p> <p>◇ 参加申込方法          添付の出席者報告様式をEメールまたはファックスで、様式に記載されている申込先までお送りください。様式は、農村ツーリズムのホームページ(<a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/2019noutabikensyuukai.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/2019noutabikensyuukai.htm</a>)からもダウンロードできます。</p>		

報道(取材)に当たって	参加者を募るため事前の告知報道をお願いします。 農たび・北海道の取組をPRするため、当日の取材報道をお願いします。
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク

担当 (連絡先)	農政部農村振興局農村設計課(農村活性化グループ 主幹 服部) TEL 011-206-6490(直通) 011-231-4111(代表) 27-855(内線)
-------------	---

# 農たぴ・北海道ネットワーク研修会

2019年

## 12月3日(火)

### 9:00開演 (8:45開場)

※終了時間は概ね16:00を予定しております。

(昼休憩1時間)

前日18:00～交流会(会費3,000円)を予定  
していますので、詳しくは主催者までお問い  
合わせください。

- 会場 TKP札幌カンファレンスセンター カンファレンスルーム6A  
(札幌市中央区北3条西3丁目1-6 札幌小暮ビル6階)
- 対象 農泊等の農村ツーリズムに取り組んでいる、もしくは関心のある組織または個人、  
市町村、観光協会、商工会、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、  
(総合)振興局担当職員 等

各地域の課題を共有し、情報交換による地域の連携強化を図るとともに、地域資源を生かした企画、運営、情報発信等の手法を学ぶことにより、農村ツーリズム(愛称「農たぴ・北海道」)の取組を推進する。

## 1 基調講演「北海道における農泊取組の可能性と課題について」 (午前の部)

- 講師 千葉大学大学院園芸学研究科 教授 大江 靖雄 氏  
(令和元年度農山漁村振興交付金評価委員会委員長)  
※パネルディスカッション コーディネーター兼任

## 2 パネルディスカッション(道内農泊地区の事例紹介) (午前の部)

- パネリスト NPO法人やくも元気村 事務局長 赤井 義大 氏  
歯舞漁業協同組合 参事 中村 直樹 氏  
オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会 副会長 道山 マミ 氏

## 3 意見交換会 (午後の部)

「どんな“農たぴ”してみたい? 地域のコンテンツを磨こう！」

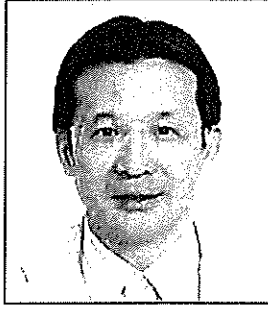
- 協力 札幌大谷大学  
ファシリテーター 社会学部地域社会学科 教授 山下 成治 氏  
アドバイザー 芸術学部美術学科 教授 堀じゅん子 氏  
准教授 島名 毅 氏

主催者連絡先> 北海道農政部農村振興局農村設計課 Tel 011-231-4111(内27-873)

## 講師のご紹介

### 基調講演／パネルディスカッション・コーディネーター

プロフィール  
大江 靖雄 氏



<所属・役職>  
博士(農学)  
千葉大学大学院園芸学研究科教授  
(食料資源経済学コース)  
令和元年度農山漁村振興交付金  
評価委員会委員長  
千葉県農政審議会会長  
松戸市食育推進会議会長

ほか多数

#### 経歴・実績

神奈川県川崎市生まれ、北海道大学農学部農業経済学科卒業、同大学院環境科学研究科修士課程修了。学生時代は、厳冬期のオホーツク流水原踏査、ユーラシア大陸一周徒行などを完遂し、未知のものに対する憧れを抱き挑戦してきた。職歴は、北海道庁主事、農林水産省北海道農業試験場研究員、同中国農業試験場農村システム研究室長、1998年より千葉大学園芸学部助教授、2001年教授。専門は農村経済学。研究テーマは、21世紀における農業や農村資源の新たな可能性と役割を明らかにすること。農村ツーリズムなど農業と農村経済の多角化の条件について、国内とイタリア農村をフィールドとして比較研究を続けている。

また、農林水産省農泊推進のあり方検討会座長、農山漁村振興交付金評価委員会委員長等を歴任し、道内農泊地区の事業評価を実施するなど、道内の農村ツーリズム事情にも精通している。

### パネルディスカッション・パネリスト

NPO法人やくも元気村  
事務局長  
赤井 義大 氏

<主な取組>  
八雲町で古民家(銭湯)を改修したゲストハウスや地産地消レストラン、直売所などを運営

歯舞漁業協同組合  
参事  
中村 直樹 氏

<主な取組>  
根室市で水産体験学習の受入や産地市場へのツアー客誘致などの「渚泊」を推進

オホーツク農山漁村活用  
体験型ツーリズム推進協議会  
副会長  
道山 マミ 氏

<主な取組>  
網走市で地域の一次産業と連携し、多くの個人客等に対応できる新たな観光メニューを開発

### 意見交換会・ファシリテーター

札幌大谷大学  
社会学部教授  
山下 成治 氏

<主な取組>  
農村ツーリズムに関する現地調査等を実施し、社会的見地からその効果などを研究

### アドバイザー

札幌大谷大学  
芸術学部教授  
堀 じゅん子 氏

<主な取組>  
美術学科の講座において農村ツーリズムのPR等をテーマにロゴマークなどの作品を制作

札幌大谷大学  
芸術学部准教授  
島名 毅 氏

<主な取組>  
「デザイン=生活を豊かにするコト」という考えのもと、地域とデザインをつなぐ活動を提案

# 「農たび・北海道ネットワーク研修会」出席者報告様式

○参加を希望される方は必要事項を記入の上、Eメールまたはファックスでお申し込みください。

(申込締切 11月27日(水))

担当者名:

連絡先:

所属	職	(ふりがな) 氏名	交流会の出欠 (研修会前日) 18:00開催	備考

(※交流会の出欠は○・×で、交流会のみの参加は備考欄にその旨記入願います)

## 【申込先】

北海道農政部農村振興局

農村設計課農村活性化グループ 担当:難波

TEL : 011-206-6490(直通)

FAX : 011-232-0027

## 「農たび・北海道ネットワーク研修会」開催概要

### 1 目的

都市と農村の交流拡大を目的として、農山漁村の豊かな自然や、食、歴史・文化、農林漁業、生活体験などを観光資源として活かし、農業や観光業など多様な主体が地域ぐるみで農泊や教育旅行に取り組む「農村ツーリズム（農たび・北海道）」を推進するため、農泊等の実践者や関係機関・団体などを対象に研修会を開催し、地域の取組を支援するとともに、情報交換による地域間の連携強化を図る。

### 2 日時

令和元年（2019年）12月3日（火）9：00～16：00

### 3 場所

TKP札幌カンファレンスセンター カンファレンスルーム6A  
（札幌市中央区北3条西3丁目1-6 札幌小暮ビル6F）

### 4 参集範囲

#### (1) 実践者等

農泊等の農村ツーリズムに取り組んでいる、もしくは関心のある組織または個人

#### (2) 関係機関・団体等

市町村、観光協会、商工会、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、（総合）振興局、北海道農村ツーリズム連絡会議構成機関・団体及びオブザーバー

### 5 定員

100名程度

### 6 内容（プログラム）

8：45	開場
9：00～9：05	開会・挨拶
9：05～10：35 (90分)	講演 「北海道における農泊取組の可能性と課題について」 千葉大学大学院園芸学研究科 教授 大江 靖雄 氏 (令和元年度農山漁村振興交付金評価委員会委員長)
10：35～10：45	休憩
10：45～12：15 (90分)	パネルディスカッション [パネリスト]（道内農泊地区） NPO法人やくも元気村 事務局長 赤井 義大 氏 歯舞漁業協同組合 参事 中村 直樹 氏 オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会 副会長 道山 マミ 氏 [コーディネーター] 千葉大学大学院園芸学研究科 教授 大江 靖雄 氏

12:15~13:15	休憩
13:15~13:25	情報提供① 「道の農村ツーリズムの取組について」 北海道農政部農村振興局農村設計課
13:25~15:45 (140分)	意見交換 「どんな“農たび”してみたい？地域のコンテンツを磨こう！」  [ファシリテーター] 札幌大谷大学社会学部地域社会学科 教授 山下 成治 氏 [アドバイザー] 札幌大谷大学芸術学部美術学科 教授 堀じゅん子 氏 // 准教授 島名 毅 氏及び 学生
15:45~15:55	情報提供② 「民泊の導入による滞在型観光の推進について」 北海道経済部観光局 「北海道の美しい農山漁村と景観について」 北海道建設部まちづくり局都市計画課
16:00	閉会